

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 26 年 2 月 20 日 (木) 15:30 ~ 16:30

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

1. 挨拶

— 須藤健一 (館長) —

2. ニュースリリース

— 八杉佳穂 (広報企画会議・議長) —

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

3. お知らせ

多機能資料保管庫について

標本資料を良好な状態で保存・活用するため、長期的な計画に基づいて安全な収蔵環境を確保する必要があります。収蔵庫の効率的な利用が可能となることで、本館が所有する世界各地の学術資料について安全な保管環境を整備し、資料管理の基盤を形成することができます。また、災害時の被災文化財の一時保管、殺虫処理に活用することで効果的な支援体制を構築できます。

— 園田直子 (文化資源研究センター・教授) —

4. 公開シンポジウム 災害と展示

詳しくは
こちら

災害に対し展示はどうあるべきか、あるいは災害に強い展示とはどのようなものか、これまでの事例から検討します。また、災害そのものや災害の経験はいかにして展示すべきか、あるいは震災の記憶を後世に伝えるためには、どのような展示が求められるのかについてもあわせて議論を展開します。

日 時：2014 年 3 月 16 日 (日) 13:00 ~ 16:30

場 所：国立民族学博物館 第 5 セミナー室

定 員：80 名 (一般公開 / 参加無料 / 申込不要)

— 日高真吾 (文化資源研究センター・准教授) —

5. 公開シンポジウム

片倉もとこ先生をフィールド・ワークする

詳しくは
こちら

「人生最後のフィールド・ワーク」に旅立つと書き残して、さりげなく逝かれて 1 年になろうとしています。幅広い分野で国際的に活躍された先生の軌跡を振り返り、それを一層発展させていくための公開シンポジウム「片倉もとこ先生をフィールド・ワークする」を企画しました。

会 期：2014 年 3 月 29 日 (土) 13:30 ~ 17:00

会 場：国立民族学博物館 第 5 セミナー室

定 員：80 名 (一般公開 / 参加無料 / 申込不要 [先着順])

共 催：国際日本文化研究センター・比較文明学会関西支部



— 岸上伸啓 (研究戦略センター・教授) —

6. 公開講演会 働き者と、ナマケモノ！？「はたらきかた」文化論

詳しくは
こちら

働き者はどこにいるのでしょうか。高度福祉国家フィンランドにおける事例、成果の不確実性がつねに大きいカツオ釣り漁業者の事例などから、「はたらきかた」を文化としてとりあげます。

日 時：2014年3月20日（木）18：30～20：45
場 所：オーバルホール（毎日新聞社ビル B1）
定 員：480名（一般公開／参加無料／要事前申込【参加証必要】）
主 催：国立民族学博物館・毎日新聞社



— 樫永真佐夫（研究戦略センター・准教授） —

7. みんなく映画会／みんなくワールドシネマ 人生はビギナーズ！！

詳しくは
こちら

75歳にして同性愛者であることをカミングアウトし、短い余生を思うままに生きる父と、自分自身に自信が持てない息子との交流を描いた本作を通して、これまでの家族形態における同性愛者の存在と人間関係、これからの新しい家族の在り方を考えます。

日 時：2014年3月16日（日）13：30～16：30（開場13：00）
場 所：国立民族学博物館 講堂
定 員：450名（参加無料／事前申込不要）
※入場整理券を10：00から講堂入口にて配布



— 小長谷有紀（民族社会研究部・教授） —

8. 国際ワークショップ コンピュータとドキュメンテーション —民族学資料のデジタル化とその利用

本ワークショップでは民族学資料のうち標本資料とそのデータだけを扱うのではなく、映像資料、音響資料、アーカイブズ資料など多種多様な資料のデジタル化の問題に取り組みます。それにより、100年、200年後も視野に入れた民族学資料の記録システムのあり方を模索します。

日 時：2014年3月4日（火）、5日（水）
場 所：第4セミナー室、収蔵庫、映像資料保管庫、アーカイブ保管庫

— 佐々木史郎（先端人類科学研究部・教授） —

9. 定年退職記念講演会

本館文化資源研究センター教授・小林繁樹と民族社会研究部教授・田村克己、民族文化研究部教授・吉本忍が3月末日をもって退職いたします。退職を記念し、講演会を実施いたします。

日 時：2014年3月12日（水）

場 所：国立民族学博物館（未定）

－八杉佳穂（広報企画会議・議長）－

10. 公開シンポジウム 伝統と創意－台湾原住民工芸の現在

東アジア展示場のオープンにあわせて、展示品の制作者である原住民族のタイヤル族、パイワン族、ブユマ族工芸作家をお招きして、創作活動についてお話しします。

日 時：2014年3月30日（日）13：30～16：30

場 所：国立民族学博物館 講堂

定 員：450名（参加無料／事前申込不要）



－野林厚志（研究戦略センター・教授）－

11. 研究こぼれ話 韓国における生涯未婚者の急増について

2月は社会文化人類学・北東アジア研究が専門分野の太田心平がお話しします。テーマは、「韓国における生涯未婚者の急増について」です。

－太田心平（民族社会研究部・准教授）－

